テーマのカスタマイズと ページ作成の応用 (ユーザー編)

バナーを変えるだけでオリジナルなサイトに!! カラムの幅を変更することはもちろん、カラム数を変更することも できます。

また、トップメニュー(ナビゲーション)をつけるだけで Web サイト 風の作りに見せることもできます。

その他、トップページとサブページでテーマを使い分けることで、より Web サイトらしいページを作成する方法もご紹介します。 難しい知識は必要ありません。

ぜひトライしてみてください!

目次

1	テー	ーマのカスタマイズ	2
	1-1	テーマのカスタマイズとは	2
	1-2	テーマのカスタマイズでできること	2
	1-3	テーマのカスタマイズ例	2
	1	バナーの変更	2
	2	パーツタイトルのデザインの変更	3
	3	カラム幅の変更	3
	4	カラム数の変更	3
	1-4	テーマのカスタマイズの前に(基本のおさらい)	4
	1-5	テーマのカスタマイズをしてみよう	5
	1	バナーを変更してみよう	5
	2	パーツタイトルのデザインを変更してみよう	6
	3	カラム幅を変更してみよう	10
	4	カラム数を変更してみよう	12
2	トツ	プメニューの作成	13
	2-1	トップメニューとは?	13
	2-2	トップメニューの設置例	13
	2-3	トップメニューの設定の仕方	14
3	トツ	プページとサブページでのテーマの使い分け	16
	1	トップページ用テーマとサブページ用テーマの違い	16
	2	テーマを使い分けたサイトの例	17
	3	テーマ使い分けの設定方法	18
4	グル	レープページの作成例	20
	4-1	階層構造を持たないグループページの作成例	20
	4-2	階層構造を持つグループページの作成例	21
5	応月	ヲ編(よりよいページ作り)	22
6	まと	<u>-</u> ₩	23

※このマニュアルは、基本的に、「システム管理者」「サイト管理者」の権限を持たないユーザーを対象に作成しています。そのため、e コミ上部メニューにある「ページ設定」の部分から設定できる内容に限っています。

1 テーマのカスタマイズ

1-1 テーマのカスタマイズとは

既存のテーマ(数十種類)から、好みのテーマを自由に選択することができますが、テーマをカスタマイズすることでより自分好みのオリジナルなページにすることができます。まず一番おすすめなのは、バナー画像を変更することです。バナー画像を変更するだけで簡単に自分だけのオリジナルなグループページになります。その他にもいくつかカスタマイズできる点がありますのでご紹介します。

【1−2 テーマのカスタマイズでできること

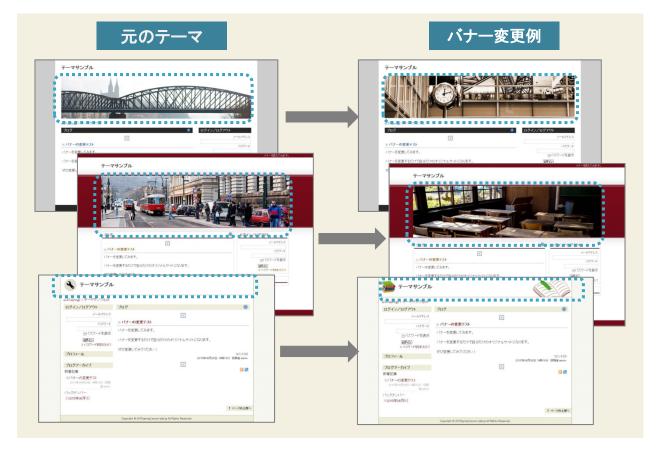
テーマのカスタマイズでできることは主に次の4点です。

- ① バナーの変更
- ② パーツタイトルのデザインの変更
- ③ カラム幅の変更
- ④ カラム数の変更

1-3 テーマのカスタマイズ例

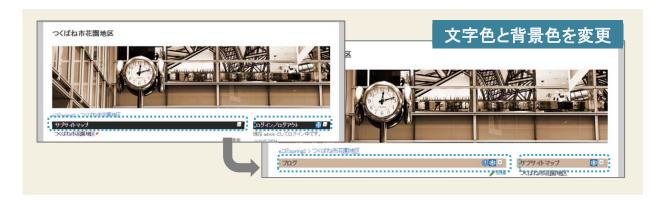
① バナーの変更

一番簡単にサイトのイメージを変更することができるのはバナー画像の変更です。バナー画像を変更しただけで、下記のように独自性のあるグループページになります。



② パーツタイトルのデザインの変更

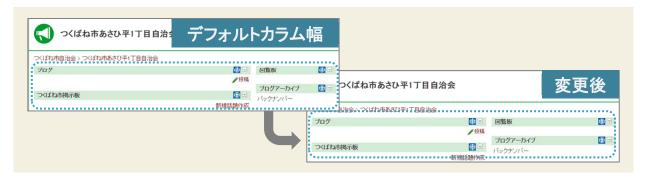
各パーツのテキストの色、背景の色、背景画像などを変更することができます。





③ カラム幅の変更

カラムの幅も自由に変更することができます。



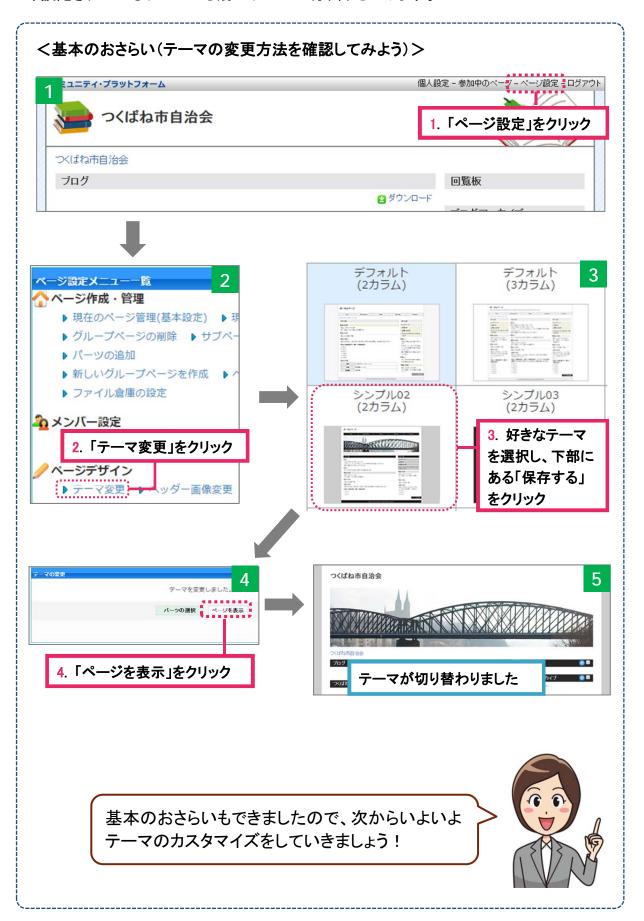
④ カラム数の変更

1カラムから3カラムの範囲内でカラム数を変更することができます。



【1-4 テーマのカスタマイズの前に(基本のおさらい)

テーマのカスタマイズの前に、まずは基本のおさらいをしてみましょう。 今設定されているテーマから別のテーマに切り替えてみます。



1-5 テーマのカスタマイズをしてみよう

① バナーを変更してみよう

バナー画像を変更するだけで、オリジナルなサイトになります。バナー画像さえ準備すれば、e コミ上では簡単な操作だけでバナー画像を変更することができます。



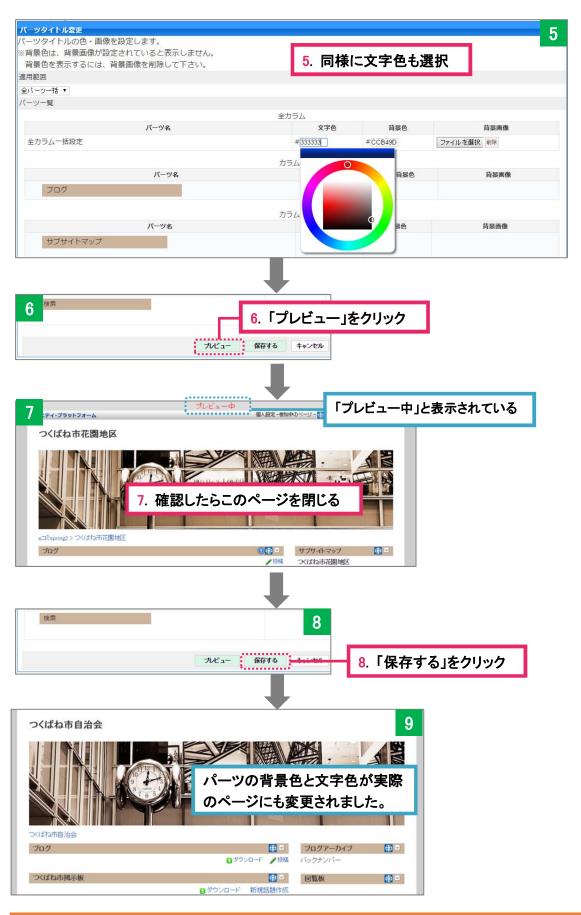
② パーツタイトルのデザインを変更してみよう

パーツタイトルのデザインは、全パーツー括で変更することもできますし、カラムごと、パーツごとのように部分的に変更することもできます。

◆ (パターン1)パーツタイトルの背景色と文字色を変更してみよう









今回の例では、全パーツ一括で変更しましたが、カラムごと、パーツごとのように部分的に変更することもできます。

◆ (パターン2)パーツタイトルの背景画像を変更してみよう

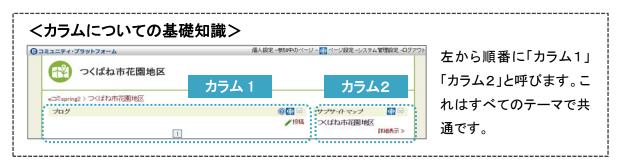
まず、パーツタイトルの背景画像を適した大きさで用意しておくことが必要です。大きさによっては、パーツタイトル内にうまく全部入りきらなかったり、位置調整が必要な場合がありますので、適用してみて、調整が必要な場合は背景画像の大きさや位置を修正します。





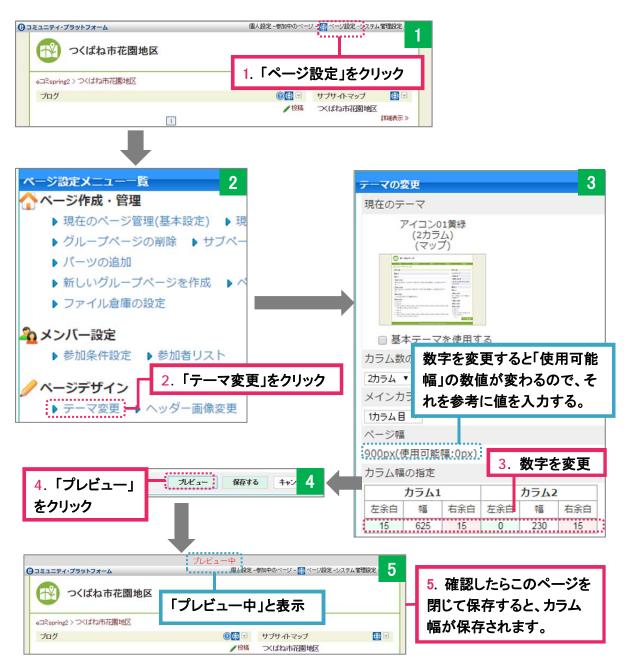
③ カラム幅を変更してみよう

カラム幅も自由に変更することができます。メインカラムとサイドカラムの幅を変更する、もし くは、メインカラムとサイドカラムの位置を入れ替える、というようなことが可能です。



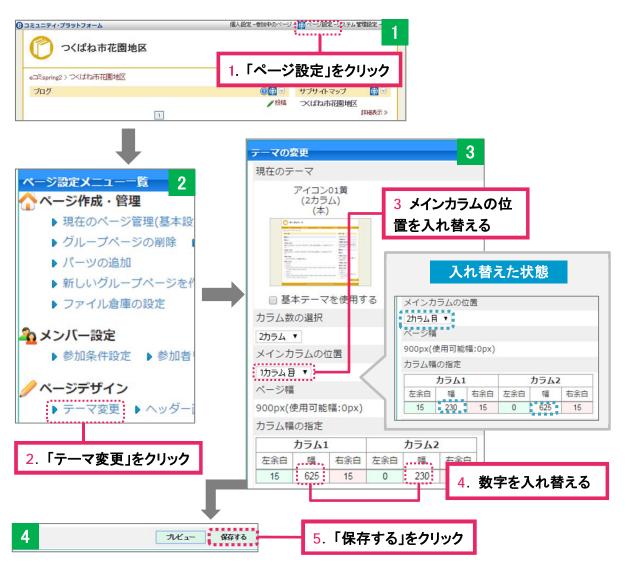
◆ カラム幅を変更する。

まずは左右のカラム幅を変更してみましょう。例えば、サイドカラムの幅を広げたいときは、 サイドカラムの幅を広げた分だけメインカラムの幅を縮めます。



◆ メインカラムを左右で入れ替える

メインカラムとは、ブログの編集画面や、ブログの個別記事などが表示されるカラムのことをいいます。そのため、広いカラムにメインカラムを指定します。デフォルトテーマでは基本的に一番幅が広いカラムをメインカラムとしていますが、カラム幅を変更して、一番広いカラムの位置を変更した場合、メインカラムの場所を指定し直す必要があります。



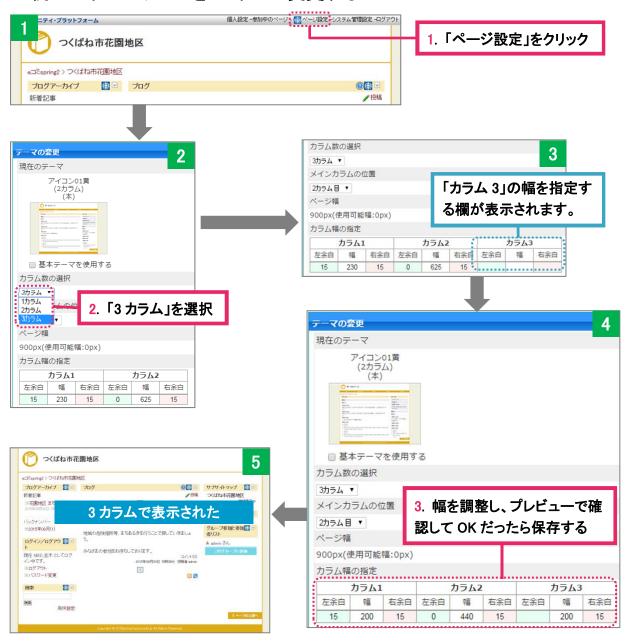


左右のカラム幅の大きさが入れ替わり、メインカラムの位置も入れ替わりました。 パーツを移動して、見せたい表示に修正しましょう。

4) カラム数を変更してみよう

カラム数は1カラムから3カラムの範囲内で、自由に変更することができます。カラム数を減らす場合には1点注意事項があります。例えば、3カラムを2カラムにする場合、一番右のカラム(カラム3)が見えなくなりますので、事前にカラム3のパーツをカラム1か2へ移動しておいてください。

<例:2カラムのテーマを3カラムに変更する>





同様に、「2カラム→1カラム」「3カラム→2カラム」など、1カラムから3カラムの範囲でカラム数を変更することができます。カラム数を変更したときは、メインカラムの位置に注意しましょう。必要があれば、メインカラムの位置を変更します。

2 トップメニューの作成

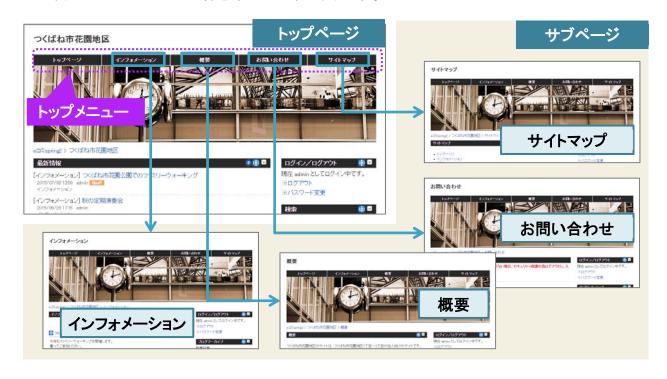
2-1 トップメニューとは?

複数ページのサイトを作成するときに利用するもので、全ページに共通に設置する案内メニューのことを指します(別名「グローバルナビゲーション」と言います)。ユーザーを目的のコンテンツページへ導き、サイト全体のコンテンツ構成を分かりやすくする目的もあります。e コミでは、簡単にトップメニューを設定することができます。



2-2 トップメニューの設置例

トップメニューを設置した例です。どのページにもすべて同じトップメニューが設置されているので、お互いのページへの行き来がしやすくなります。

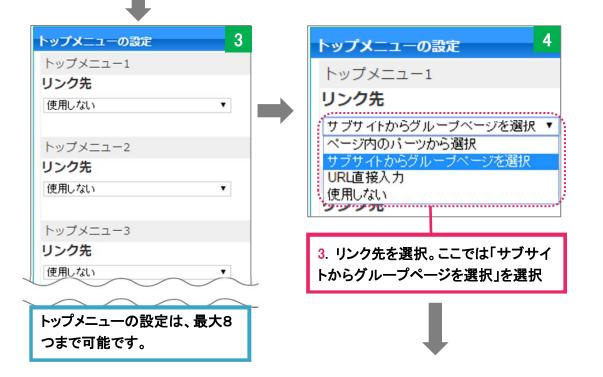


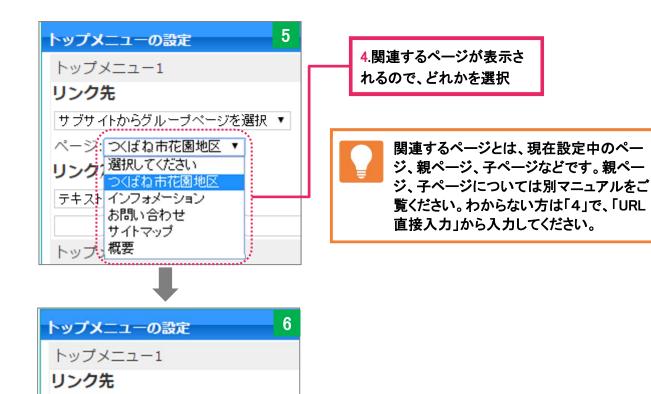
2-3 トップメニューの設定の仕方

トップメニューを設定してみましょう。eコミでは、トップメニューを最大8つまで設定することができます。









5. メニュー名を記載
つくばね市花園地区
7

サブサイトからグループページを選択▼

ページ: つくばね市花園地区 ▼

リンク方法

テキスト ▼

トップメニューが 設定されました

6. 作成したいすべてのメニューでこれ

らを設定し、「保存する」をクリック

リンク付けしたすべてのページに対してこれと同じ作業をすれば完成です。



サイト管理者・システム管理者の場合、トップメニューをテンプレートで設定することができるので効率的です。 つまりテンプレートでトップメニューを設定しておけば、そのテンプレートを利用しているすべてのグループページで同じトップメニューを利用することができます。 詳しくは、「テンプレート・デザインマニュアル(管理者編)」をご覧ください。

これでだいぶWebサイトらしくなってきましたね!



3 トップページとサブページでのテーマの使い分け

トップページとサブページでテーマを使い分けてみましょう。テーマを使い分けることで、より Web サイトらしい作りに見せることができます。

① トップページ用テーマとサブページ用テーマの違い

トップページ用のテーマにはバナーがあり、サブページにはありません。また、トップページ用テーマには「パンくずリスト」がありませんが、サブページ用のテーマにはあります。



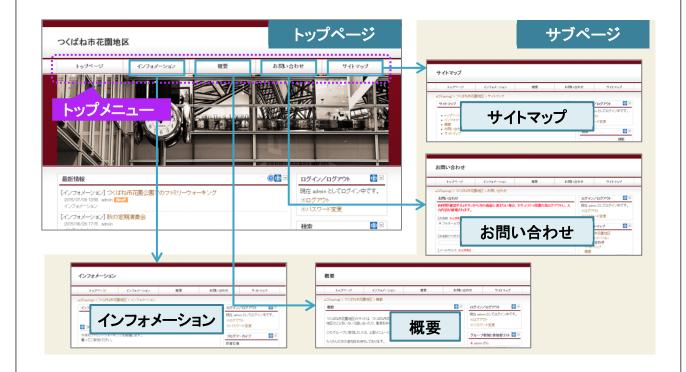


このように「トップページ用」と 「サブページ用」のテーマがあ るものから選択します。

	バナー画像	パンくずリスト
トップページ	0	×
サブページ	×	0

② テーマを使い分けたサイトの例

トップページとサブページでテーマを使い分けた例です。トップメニューを追加したことで、関連する各ページへの行き来がしやすくなり、ユーザーにサイト全体のコンテンツ構成を分かりやすく明示することができます。



<トップページとサブページの階層構造について>

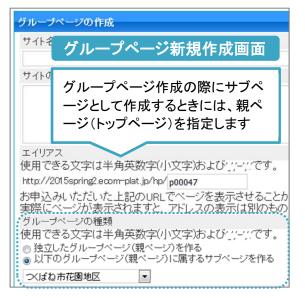
補足



後から階層構造を変更するには、「システム管理者」「サイト管理者」の権限が必要になります。階層構造を後から変更したいときは、この権限を持つユーザーに相談してください。

このような制約があるため、グループページを作成する時点で、階層構造まで考えて作成することをおすすめします。

左図のパンくずリストをみるとわかるように、「親ページ(トップページ) > 子ページ(サブページ)」と表示されています。このような階層構造にするためには、グループページを作る際に階層構造まで考えてから作成する必要があります。

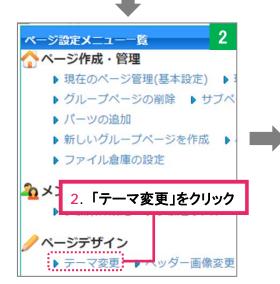


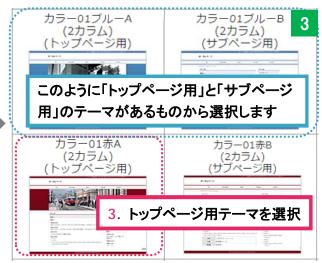
③ テーマ使い分けの設定方法

テーマ使い分けの方法といっても難しいことはありません。トップページにはトップページ用の テーマを、サブページにはサブページ用のテーマを選択するだけです。

1. トップページのテーマを変更する





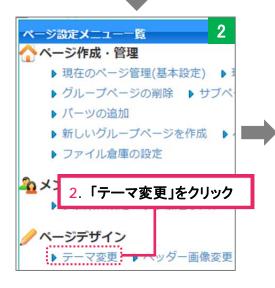






2.サブページのテーマを変更する









関連するすべての サブページでこちら のテーマに設定す れば完了です。



4 グループページの作成例

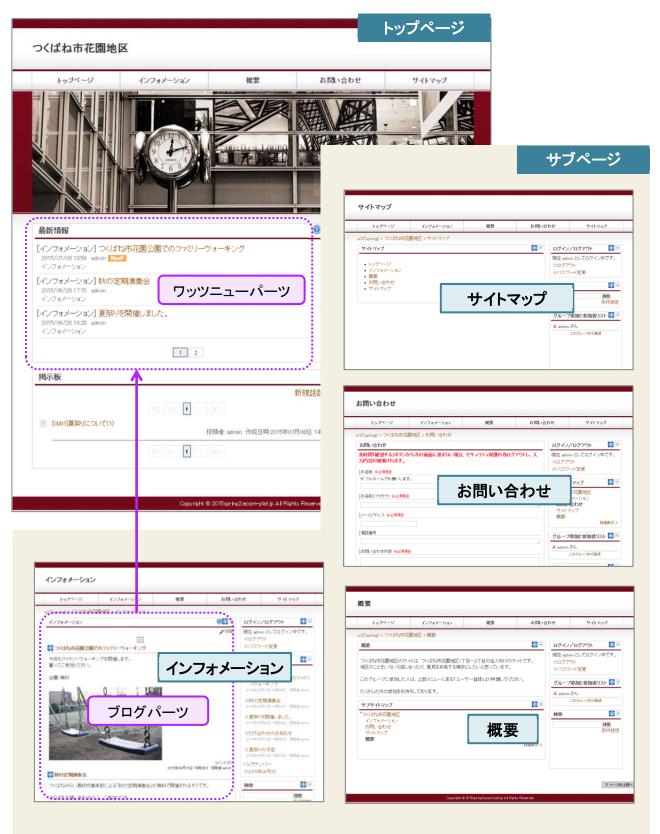
4-1 階層構造を持たないグループページの作成例

単ページとして作成する場合の作成例です。「ブログパーツ」をメインに、「イベントカレンダーパーツ」、「掲示板パーツ」を設置することで、自治会メンバー同士の交流がはかれるようになっています。パーツごとに公開範囲をうまく使い分けるといいでしょう。



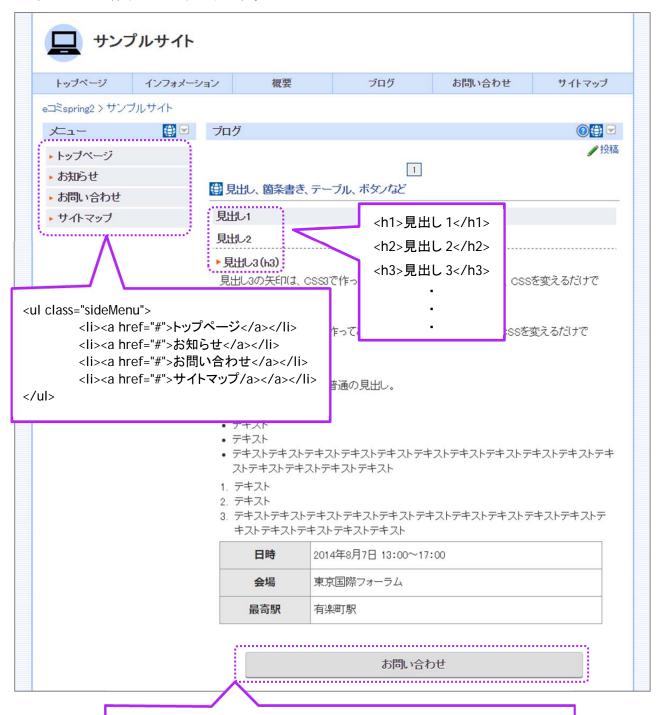
4-2 階層構造を持つグループページの作成例

関連するページをもつ Web サイト風のページの例です。トップメニューから各ページへいくことができます。ポイントは、トップページには「ブログパーツ」を置かずに、「ワッツニューパーツ」を置いているところです。インフォメーションのページで「ブログパーツ」を使って情報を投稿し、それがトップページの「ワッツニューパーツ」で表示されるようになっています。このようにすることで、トップページがすっきりとしますし、最新の投稿には「New」マークが表示されるようになります。



5 応用編(よりよいページ作り)

html ソースがわかる方は、見出し、箇条書き等のタグを使い、より見やすくわかりやすいページを作成してみてください。見出しや、箇条書き等を使い、きちんとした階層構造でソースを書くことで、より見やすく、伝わりやすいページになります。また、正しい構文で書くことが、検索されやすいページ作りへとつながります。



<div class="btn_entry">お問い合わせ</div>

e コミのデフォルトスキンは、上記の class に対応していますので、html や CSS が分かる方はぜひ活用してみてください!



6 まとめ

ページを作成し、テーマを適用し、必要なパーツを追加するだけでグループページは出来上がりますが、そこから少し手を加えるだけで、より見た目に伝わりやすい、より使い勝手のいいページになります。最後に、今までの情報を踏まえて、グループページを作成する際のフローの例を簡単にご紹介します。こちらを参考に、ぜひグループページを作成してみてください。

① グループページの構成を練る

グループページを作成する際は、単ページにするか、階層構造を持つページにするかをあらかじめ考えておきましょう。そのとき、設置したいパーツについても考えておきます。



② グループページを作成する

単ページの場合は1ページだけグループページを作成すればOKです。階層構造を持つサイトを作成する場合は、必要な数だけグループページを作成します。サブページ作成の際は、「親ページの指定」に注意してください(P17の補足をご覧ください)。



③ 必要なパーツを追加し、いらないパーツを削除する

グループページに配置したいパーツを追加し、適切な場所に移動します。その際にパーツ タイトルや公開範囲、基本設定などもしてしまいましょう。いらないパーツは削除します。



④ 必要があれば、テーマをカスタマイズしましょう

デフォルトのバナーから、そのグループページに適したバナーに変更します。カラム数、カラム幅などを変更したり、パーツタイトルのデザインを変更し、より自分の見せたいページに近づくようにしてみましょう。



⑤ 階層構造を持つページの場合はトップメニューを追加しましょう

関連するグループページの分だけトップメニューを設定します。



⑥ 中身を充実させましょう

グループページは作成しただけではただの入れ物です。中身を充実させることが大切です。 ブログを投稿したり、掲示板で意見を交わしたり、イベントカレンダーでさまざまなイベント情 報を告知して、多くの人に見てもらい参加してもらえるようなページ作りを目指しましょう。

皆さんもぜひオリジナリティのある中身の充実したページを作ってみてくださいね!



テーマのカスタマイズとページ作成の応用

(ユーザー編)

発 行 日:平成27年10月

制作・著作:国立研究開発法人 防災科学技術研究所

http://risk.bosai.go.jp

e コミ公式サイト

http://ecom-plat.jp/